

## 競技注意事項(案)

1. 本大会は、2026年日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合せ事項によって実施する。
2. 競技場の開閉門時間について下記の通りとする
  - ・開門日時：6月13日（土） 8時15分
  - ・閉門日時：6月13日（土） 20時40分

3. 受付および招集について

### 【受付】

チーム受付は行わない。

但し、

- ・参加料未払いの方
- ・領収書発行を希望される方
- ・撮影申請をされる方（詳細は本紙記載の☆不適切な撮影(迷惑撮影・盗撮等)の防止に向けて☆を参照のこと）

は8時30分以降、競技場正面入口に設置の受付にて必要な手続きを行うこと

※プログラム冊子の配布は行わない。当連盟HPにてデジタルプログラムをアップロードするので、そちらを参照のこと

### 【招集（一次、二次）について】

#### ・一次招集

第1コーナー（緑色のテント下）付近にて行う

注1）代理も可とする

注2）出場選手のアスリートビブスを持参する事（3000m、5000mは除く）

#### ・二次招集

各種目競技開始場所（現地）にて行う

※選手本人が最終コールを受けること

★招集に関する時間は、その競技の開始時刻を基準とし、下記の通りとする

	一次招集開始時刻	一次招集完了時刻	二次招集開始時刻
トラック競技	1500m：60分前 その他：120分前	30分前	現地 10分前
フィールド競技	女子走高跳：90分前 やり投：90分前 その他：120分前	60分前	現地 30分前

<注意> 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を欠場したものとみなす

4. アスリートビブスについて

#### 【100m、400m、1500m、フィールド競技の出場者】

- ・各自で都道府県陸協登録のアスリートビブスを使用する
- ・腰ナンバーは、1次招集時に配布する（フィールド競技除く）

#### 【3000m、5000mの出場者】

- ・別アスリートビブス（胸・背）を1次招集時に配布する

※アスリートビブスがない場合は番号布を販売（1セット 300円）するので、各自で作成すること

5. トラック競技について

- ・全てタイムレースとし、決勝は行わない
- ・欠場者が多い場合は、組み換えを行う場合がある
- ・下記の時間を超えて最終周回に入っていない場合には、競技を打ち切る場合がある

1500m／5分30秒 3000m／11分30秒 5000m／17分30秒

※3000m、5000mについては熱中症対策の為、給水を準備する

※暑熱対策や悪天候による競技中断があった場合、記載の設定時間よりも早く打ち切る場合がある

## 6. フィールド競技について

- ・フィールド競技の試技は、プログラム記載順とする
- ・試技の回数は3回とする
- ・跳躍競技の競技者のナンバーカードは、背または胸につけるだけでもよい
- ・走幅跳については、エントリー数により組を分けて実施する場合がある
- ・試技時間については 2026年日本陸連競技規則を適用する。

## 7. 走高跳のバーの上げ方は下記の通りとする

	男子	女子
練習	1.40-50-60-70-80-90	1.35-40-45-50
試合	1.40-50-60-65-70-75-80-85-90-95-2.00-05 以降3cmずつ上げる	1.35-40-45-50-55-60-65-70-75 以降3cmずつ上げる

※上記以外の高さについては、協議の上、審判長が決定する

## 8. 競技用器具について

競技用器具は競技場備付けのものを使用する。但し、「やり」については各人所有の物を検査の上使用できる  
※検査は競技開始 1 時間前から10分間、ゴール寄りの器具庫前で行う

## 9. 大会の中断・中止について

- ・暑熱対策による中断  
本大会は、最もWBG Tが高まると想定される時間帯に、予め競技中断時間を設ける。  
詳細は競技日程を参照のこと。  
但し、当日のWBG Tの数値に応じて、中断の時間を拡大する場合がある。  
※会場にはWBG T計を設置する
- ・悪天候・自然災害による中断・中止
  - (a)雷  
大会本部にて雷探知機を準備する。約40km圏内で雷が探知された時点で、気象庁の気象情報も確認しながら競技の中断を検討する。約20km圏内で雷が探知された場合は、競技の実施中であっても直ちに中断(中止)して避難を開始する。
  - (b)特別警報、警報  
<大会開催前>  
特別警報、警報(暴風、大雨等)が競技会会場地域に発令されている場合は大会を中止する。  
中止の場合は当日朝7時までには大会HP、関西実業団連盟公式Xにて告知する。  
<大会開催中>  
大会開催中に特別警報、各警報が発令された場合は大会を中止する。
  - (c)その他  
上記以外の状況であっても、競技の実施・継続が困難であると判断される天候、災害(地震等)の発生等があった場合は、大会を中断・中止する。

## 10. 選手の怪我、体調不良による競技の棄権

競技継続が困難であると競技役員が判断した場合、該当する選手を棄権させることができる。  
競技役員への抗議は認めない。

## 11. その他

- ・シューズについてはWA規則TR 5の改定ルールを適用する  
※詳細は日本陸連HP参照 <https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/shoes/>
- ・貴重品類は各自で責任を持って管理すること。盗難、紛失について主催者は一切の責任は負わない
- ・競技会開催中の傷害事故については、救護室にて応急処置のみ行う
- ・記録は掲示せず、速報サイトにて発表する。関西連盟HPにURLを掲載する
- ・記録証交付を希望する競技者は大会本部に 500 円を添えて記録証交付願を提出すること
- ・使用した場所は、各自各団体で責任をもって清掃し、美化に努めること。ゴミは各自、持ち帰ること
- ・携帯電話等、通信機能の付いた情報機器の競技エリアへの持ち込みは禁止する

## ☆不適切な撮影（迷惑撮影・盗撮等）の防止に向けて☆

- ・本大会では、スマートフォン、タブレット端末、携帯電話以外の撮影機器の使用は認めない。
- ・スマートフォン、タブレット端末、携帯電話であっても、外付けの望遠レンズを装着しての使用は一切認めない
- ・一眼レフカメラ、ビデオカメラ、その他望遠機能のついた撮影機器については、下記手順で申請をし、発行された撮影許可証を身に着けた者に限り認める

### <申請方法>

- ① 出場選手本人が、自身のアスリートビブスを受付に持参する
  - ② 撮影許可証の発行申請書を記入する
- ※チーム関係者(顧問、監督、コーチ、マネージャー)は、受付にて関係者であることが証明できる身分証(学校名、企業名等が記載された名刺等)を提示すれば、申請できるものとする

### <注意事項>

- ①撮影は、申請書に記載した「撮影者」のみ可能とする  
※無断で許可証を他者に譲渡することは禁止する
  - ②撮影許可証は、申請者(選手)のみを撮影することを目的とする  
※チームの指導者・顧問等についてはこの限りではない
  - ③撮影終了後は、速やかに許可証を受付に返却する
- ・競技場内のあらゆる時間、場所において、不適切な撮影行為(盗撮等)が疑われる場合については、場内巡回スタッフが声掛けする。その際、撮影内容を確認する為、必ず応じること。盗撮を発見した場合には、直ちに警察に通報する